

主な記事

2面：愛媛地本特区提案
ライドシェア導入回避を求め要請行動、
2016春闘全道総決起集会、反核燃の日全国集会、高槻交通労組 不当労働行為を許さない

全自交しんぶん

第1140号
4月15日

(有料制964号)
2016年/平成28年
(昭和48年7月19日)
第三種郵便物認可

THE ZENJIKO
全自交しんぶん
発行＝全国自動車交通労働組合連合会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目7番9号
電話＝03東京(3408)0875・0876
zenjiko-roren@zenjiko.or.jp
発行責任者＝松永 次央
毎月1日、15日発行(月2回)
……購読料 1ヵ月 70円……

熊本地震

熊本地本事務所閉鎖、タクシー会社倒壊 続く余震 安否確認が困難極める 被災した仲間を救援しよう



地震で屋根瓦が落ち石垣が崩壊した熊本城（国の重要文化財）

4月14日21時26分頃、熊本県熊本地方を震源とする、最大震度7の地震が発生した。さらに、4月16日1時25分頃、同じく熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード7.3、最大震度6強の地震が発生。余震も続発し甚大な被害を与えた。18日現在の被災状況は、死者44人、重軽傷者1100人、行方不明8人、避難者は9万3000人にのぼる。避難生活も長期化しており、車で寝泊まりする人も多数出ている。この地震で熊本地本事務所が倒壊の恐れから18日に閉鎖となった。社屋が倒壊したタクシ―会社もある。全自交関係者の救援活動は17日から開始されている。

全自交熊本地本は現在、相 受け、重光書記長の自宅を拠 熊本市内のタクシ―は鉄道 次ぐ地震により倒壊の恐れか 点に懸命に安否確認と支援物 がストップしたことにより福 ら労働会館が閉鎖された事を 資の配給を行っている。 岡等への長距離輸送の需要が 急増。被災直後の人的輸送を 担っている。 全自交労連は4月19日、持 ち回りで緊急の三役会議を開 とする任意の救援カンパを全 催し、熊本地震の対応につい 国の仲間呼びかけを 日とした。

足により、組合員とその家族 ない。全自交加盟組合のタクシ―会社で社屋の一部が倒壊 連、福岡地連、関西地連、愛 知地連、労連本部が飲用水や 食料等の支援物資を搬送。救 援活動の支援を行った。

全自交労連は、4月18から 28日の10日間を「解決促進ソ ーン」に設定し、団体交渉を 追い上げ、メンバー前には決 着をはかれるよう全力で闘う 事としている。

2016春闘 妥結16組合 6600人突破

2016春闘 妥結状況一覧（4月15日現在）	
【北海道地連】	現状維持。決算一時金支給
3.26 安全永楽交通	現状維持。慶弔費3万円以上、振替月2回まで可。従業員紹介料＝5万円→10万円（5万円アップ）
3.30 朝日交通	賃率改定＝余市：1%UP、古平：4%UP、小樽：現状維持 公出歩率＝小樽：1%UP、余市：2%UP
3.30 小樽つばめ交通	
【青森地連】	足切額：265,000円→170,000円、賃率組み換え
3.25 松竹タクシ―	
【岩手地本】	基本歩合給改善＝65歳以下：1.6%UP、嘱託・新規採用：2.0%UP
3.31 北都交通	夜勤：2.1%UP、日勤：0.8%UP（平均1.54%UP）
【東京地連】	<賃金> [都内ハイヤー乗務員・タクシ―NA、NC乗務員] 定昇：2,000円（60歳以上＝1,200円）
3.30 日交労	[職員・整備士] 定昇増額支給 [小田原・立川・大宮職員] 月額原資一人3,000円（定昇含む）
【神奈川地連】	<一時金> [都内ハイヤー 乗務員] 年間1人平均50万円 [タクシ―N型、小田原、立川、大宮乗務員] 年間営取評価導入。[職員・整備士] 年間1人平均基準内賃金の4.0ヶ月
4.9 神奈川都市交通	[タクシ―] 月間営取基準の暫定条件延長 [ハイヤー] 一時金年間平均40.5万円 [非乗務員] 一時金年間平均57万円
【愛知地連】	[全部門] 精勤賞＝平均18,525円（夏季賞与時に支給）
3.23 愛電交通	カードリーダー負担は現行制度とするが、夏季賞与時に3,000円＋（2,000円又は3,000円）を加算支給する。
3.24 名鉄交通	*定時制組合員は2,000円＋（1,400円又は2,000円）
3.24 名鉄知多タクシ―	現状維持。年間臨時給：率協定 解決一時金：平均1万円
【三重地連】	定昇400円。年間臨時給：タクシ―76万（1万増額）。特別一時金：平均2万円。無線配車協力金：平均1万円
3.14 三重近鉄タクシ―	安全サービス協力金：平均1.5万円
【石川ハイタク】	定昇4,400円（ハネ込）。年間臨時給：率協定。解決一時：3万円。清算金：1万円
3.9 大和	現状維持 夏季一時金＝34万円＋加給金1万円。 特別業務協力金（期末手当）＝24,000円。
3.10 近鉄	春闘解決一時金＝23,000円。伊勢志摩サミット協力金2,000円
3.15 石川交通	秋までに積算歩合制に移行。無事故表彰実施
【広島地本】	賃上げ500円。業務協力金＝組合員一律5,000円、協力金計2,000円。隔勤パートは3,500円
3.24 広島タクシ―	賃上げ＝勤続1年以上：通常勤務者8,000円、時短勤務者5,000円。
【山口地本】	勤続1年未満：通常勤務者・在籍1ヵ月当たり500円、時短勤務者。在籍1ヵ月当たり400円。
3.31 岩国校内支部	乗務員：現状維持 整備・無線・事務：ベア500円
	一時金＝夏季：条件付き1万円加算、冬季：条件付き1～3万円加算
	正社員：現状維持、嘱託：4%UP。 祝日手当1,000→1,500円（500円UP）※9地連・地本 13組合

北海道2-0-1=6春闘全道連 白タク合戦 衆議院5区補選/第24回参議院



挨拶する森長委員長

全自交北海道地連

春闘と補選、参議院選の勝利誓う

2016春闘全道総決起集会

全自交北海道地連(森長委員長)は4月4日、札幌市内で2016春闘全道総決起集会を開き、組合員と役員82名が参加しました。

森長委員長は「賃切バス業界は規制緩和によって台数が急増し、激しい運賃競争が展開された結果、安全コストや労働条件が置き去りにされた」「タクシ―産業も同じような状況にある。安全輸送を守り、乗務員不足を解消するためには労働条件の改善は急務だ」と述べ、2016春闘で奮闘し合うことを参加者に訴えました。また「過疎地のライドシェアと称した白タク行為はタクシ―産業を脅かす」と警鐘を鳴らすとともに「北海道5区の衆議院補欠選挙と7月参議院選挙で推薦候補を応援しよう」と呼びかけました。

全自交大阪地連 高槻交通労組

不当労働行為を許さない!

全自交高槻交通労組は2月26日、会社側から「全自交とは労働協約を結ばない」「労働条件変更は全自交の合意は必要ない」「労働委員会への救済申立を機関決議した事のでチェックオフを中止する」等の不当労働行為を受けたことに対し、大阪府労働委員会に救済を申し立てました。

その第1回調査が3月31日午前10時30分より行われ、全自交大阪地連と高槻交通労組記録等の書証に関する補強を組みを進めます。

全自交愛媛地本 宇和島市・新居浜市・今治市に要請

国家戦略特区のライドシェア導入は危険



新居浜市の近藤副市長に要請する岡本委員長



中予地区での白タク反対学習会

全自交愛媛地本は4月11日、有償運送は行っておらずコミから14日、宇和島市、新居浜市、今治市に対し、特区提案やライドシェア(白タク)の導入をしない旨の要請行動を行いました。

13日午後、新居浜市役所で、近藤清孝新居浜副市長に、藤副市長は「デマンドタクシーを運行している。地域公共交通活性化協議会で対応している。自家用有償運送も行っているが、これも協議会で皆さんの意見を聞きながら運営している。住民の移動を守るのには公共交通が基本」と述べました。その後、藤田豊治新居浜市議長らにも要請しました。議長は「今後も空白地の移動手段については、業界使、利用者などの意見を聞きながら対応していきたい」としました。

各地で地区労の仲間を交え学習会も

自治体要請行動に合わせ、各地で、白タクの危険性や安倍政権の国家戦略特区の危険性についての学習会も行いました。11日に宇和島市で行われた学習会と決起集会には、宇和島地区労加盟組合や市会議員3名が出席し、総勢33名が参加しました。



「止めよう再処理」と叫ぶ参加者



日本原燃の使用済み核燃料再処理工場(六ヶ所村)の本格稼働や原発の再稼働などに反対する「4・9反核燃の日」全国集会在4月9日、青森市の青い森公園で開かれました。

全国各地から労働組合や市民団体など約1100人が結集。全自交東北地連からも青森地連、岩手地本、秋田地連から積極的に参加しました。集会の冒頭、核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団の浅石代表が挨拶。続いて挨拶した加団体の報告に続き、決議文とアピールの採択し、最後に江良平和労組議長(全自交青森地連書記長)の音頭でカンパロー三唱しました。集会后、参加者は青森市内の中心部をデモ行進し「原発再稼働反対」と力の限り市民に訴えました。

世界から原発と核を葬ろう!

日核燃の集会

13日は愛媛地本近鉄東予分会で学習会を行い、14日夕方には松山市内で愛媛地本主催の「4・14中予地区ハイタク労働者集会&学習会」が開かれ、中予地区労センター加盟の三上青森県反核燃実行委員長は「核燃サイクル事業と原発再稼働を止め、日本と世界から原発と核を葬り去るまで頑張ろう」と呼びかけました。